

## 東京大学とCSR分野で教育プログラム

### ポルシェジャパン

共同応募・東京大学先端科学技術研究センター  
「個別最適な学び研究」



ポルシェジャパン（東京都港区）は、スポーツカーの魅力を伝えながら自動車を通じて質の高い教育機会の創出に乗り出している。日本に根差す輸入車ブランドとして、社会課題の「教育」に着目し、自動車の原点や在り方を深く考える内容を必ず盛り込むことを重視した。

初年度はコロナ禍の2021年。コミュニケーション方法や貸し切りサーキット場で、最新のポルシェに乗りクルマの原点を感じる体験を提供した。その後も歴史を紐解く体験や稼ぐことへの意義などを体感できるようにプログラムを設定した。23年には「ものづくりのプログラム」としてメニューを拡充。

1960年代のポルシェトラクターを蘇らせた。技術の匠とポルシェのものづくりの本質と醍醐味の経験を提供した。

24年は熊本・鹿児島・長崎エリアにおいて土地の独自文化や果樹園などで働くことで得られる学びの場づくり

## 自動車通じ質の高い教育機会創出



を行った。参加した学生からは「自分が気になったことをそのままにせず自分を納得させることで多角的に物事を考えられると感じた」などの声が上がったという。

同取り組みにより参加した奨学生は合計55人。同社では同窓会も毎年開催し、参加学生が集う機会を設け、持続的に続く関係性を構築している。

【受賞者コメント】この度はCSR大賞のSDGs貢献部門賞に選んでいただき、誠に光栄に存じます。昨年の地域・コミュニティ活性化に続き2年連続で部門賞をいただけただけでなく、本年はポルシェセンター熊本・熊本の運営会社「アデル・カーズ」様と同部門賞でのW受賞となり、非常に嬉しい思いです。今後もポルシェが全世界で展開するビジョン『夢を追いつける人のためのブランド』を行動指針に据え、企業市民としての社会的責任を果たしてまいります。